

令和4年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターこまつ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和5年 2月 10日（金） 13:30 ~ 14:30

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

不思議と思う心を中心に 子ども一人ひとりの率直な驚き、疑問、夢を大切に育みます

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

自然と人とのかかわりで育つもの 不思議だな やってみたい
当園では『不思議と思う心』に寄り添い、子どもたち一人ひとりの率直な驚き、疑問、夢を大切に全職員が子ども達の育ちに良い環境となるよう努めます。生きる力を育むために、7つの活動を展開している他に、コーナーあそびを充実させ、その中で子ども達が四季を通していろいろな活動体験に触れ、「主体性」や「気付き」「興味」を引き出していける環境を整えていきます。保護者と共に成長した喜びを共有できるように、コーナーあそびの計画を立てながら、子どもの姿を語り、職員一人ひとりが専門知識を理解し、学びを深めていきます。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	・グランドデザイン・重点目標ともに園内研修や会議などで定期的に確認や共有を行っている。 ・グランドデザインや重点目標を軸に年間計画を作成し、教育・保育活動に取り組んでいる。また、毎月保育の振り返りを実施している。	4	・グランドデザイン、重点目標共に職員間で共通理解、意識されている。 ・毎月保育の振り返りを実施し、職員間で情報共有する取り組みが定期的に行われている。 ・子どもを預ける親として、職員一人ひとりが重点目標を意識し、7つの活動やコーナー遊び等で様々な経験が出来るような保育計画や子どもの自信や意欲に繋がっている様子が伺える。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	・コーナーあそびの計画を立てる中で、年間の保育テーマを取り入れ、コロナ禍ではあるが工夫をしながら保育の実践をしている。 ・活動については、子ども達の実態を把握し計画を立てていたが、評価・反省が十分に活かしていけると良い。	4	・子どもに合わせた遊びを提供している。コロナ禍ではあるが安全面や配慮等工夫をしながら保育の実践をしている。 ・活動については、子ども達の実態を把握し計画を立て、実践、振り返り(反省)等がしっかりできている。 ・コロナ禍で数少ない年間行事が中止となる中でも、園として積極的に取り組む姿がみられた。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	・異年齢保育やコーナーあそびの中で子ども達が主体となった活動を進めている。 ・「子どもを信じて待つ」(こまつ3か案)を意識した保育を実践している。 四季の自然を取り入れた活動を行っているが、より多くの自然に親しめると更に良いと考える。	4	・子どもが主体となり、「食」「サッカー」「サンクチュアリ」等で自立心、肯定感、好奇心が自然と高められる環境となっている。 ・異年齢保育では、大きい子が小さい子の世話をする等の姿が伺える。 ・園内の環境や活動等様々な場所で、季節を感じられる環境にある。

<p>IV. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃子ども達の様子を伝え、送迎時や面談時に成長を喜び合えるよう話をする場を設けている。コロナ禍で保護者が園内に入る機会が減っているため、普段から更に積極的なコミュニケーションが必要である。 ・ブログの発信は定期的に行っているが、内容については偏りがあるため改善していきたいと良い。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時子どもの様子や相談事等、細かな気遣いをしている。 ・利用者アンケートでは、コロナ禍で園内に入れない中、得られる情報が少ないという意見から、保護者との密なコミュニケーションを要する。また、保護者に日々の保育を伝える努力をしていく必要があると感じる。 ・家庭と園とで連携し子育てをしていくという意味で、園での取り組みを保護者へと発信し情報共有することで、より保護者と信頼関係深まるのではないかと考える。
<p>V. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン・講座の実施や子育て支援通信の郵送を行い、開かれた園への取り組みがされている。 ・地域の方がいつでも来園できる環境にあり、足を運んで下さった方には温かく声をかけ対応している。 ・現在のコロナ禍で、地域との関わりが減ってしまい、十分に役割が果たせていないと感じる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であっても、園外に出掛ける散歩の範囲が広く、子どものことを考え、計画や配慮をして工夫が見られる。 ・いつ園を伺っても、職員が明るく丁寧に対応する姿から、開かれた園だと感じる。 ・以前は地域の方を招いての行事が開かれていたが、コロナ禍ということもあり、減ってしまった。今後、人数制限や開催の仕方を工夫したり、地域の方もかりたりしながら開催が出来ると良い。
<p>VI. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が活かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの個性や得意なものを保育に活かしている。 ・職員同士思いやりを持ち接している。 ・研修や職員間での話し合いを通して自身の保育を振り返ったり、知識を深めたりすることに繋がっている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの個性や特性を活かせることや話し合いのできる環境があるという観点から働きやすい職場であると感じる。 ・交代勤務で無理のない職場で好感が持てる。また、送迎時には、忙しい中でも多くの職員が立ち止まって気持ちの良い挨拶をして下さる事から、良い環境ということが伺える。 ・様々な職種の職員たちが助け合って子どもにとってより良い保育をしている。